

2020年の幕開けに思うこと (メルマガ1月号)

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今回の年末年始の休みはカレンダーの並びにより、多くのところで9連休となり、例年よりも長い休みとなりました。旅行会社の集計によると年末年始の休みが9連休となったことで海外旅行者数は過去最高に上ったことが、新聞やテレビで報じられていました。

旅行をされなくても、いつもよりはゆったりした気分でお正月を楽しまれた方も多いのではないかと思います。

私のお正月の過ごし方を申しあげますと、毎年地元にある「七福神巡り」をしています。始めてから、かれこれ20年以上に及びますから、お詣りしないと新年を迎えた気分にならないような、何か落ち着かない気持ちになります。

読者の皆様のお住まいの近くでも催されているかもしれませんが、改めて調べてみると、「七福神巡り」は全国各地至るところで行われているようです。中には一堂に七神をお祀りしているところもありました。

七福神巡りは、日本の正月の風習のひとつとして江戸時代から盛んになったようですが、参拝することにより不老長寿、商売繁盛、五穀豊穰、家内安全など、所願成就のご利益があるとされていますし、近年の御朱印ブームや地域の町おこしの取組として、近頃とくに盛んになってきているように感じます。

人それぞれに願いがあるわけですが、私は七福神巡りをしながら、大きな自然災害に心を痛めた昨年を振り返りながら、今年はみんなが穏やかで、安全で、円満に暮らせる毎日であることをお祈りしました。

生涯学習財団としても、皆様の生きがいと仲間づくり、健康で充実した幸せな毎日を願いながら、今年一年も「かわさき市民アカデミー」と協働して、豊かな生涯学習機会の提供に取り組んでまいります。

今年も多くの皆様の各種講座、催しなどへのご参加、生涯学習プラザ施設のご利用をお待ちしています。

どうぞよろしく願いいたします。(N.W)